

宮城

 最大震度	 全壊	 死者
7	83,005棟	10,568人
 浸水面積	 半壊	 行方不明者
327km ²	155,130棟	1,215人
 最大浸水深	 一部損壊	 負傷者
32.75m(南三陸町)	224,202棟	4,148人

一歩ずつ前へ

復興のあゆみ

2017年

- 3月 3日 … 「南三陸さんさん商店街」が本設移転し開業(南三陸町)
- 6月 30日 … 観光交流施設「いしのまき元気いちば」オープン(石巻市)
- 11月 5日 … 「東松島市東日本大震災復興祈念公園(P69)」完成(東松島市)



2018年

- 4月 14日 … 「巨理都市公園・鳥の海公園」が完成(巨理町)
- 7月 12日 … 「塩竈市津波防災センター(P72)」オープン(塩竈市)
- 10月 7日 … 宮城オルレ「気仙沼・唐桑コース」オープン(気仙沼市)

2019年

- 2月 9日 … 山元町農水産物直売所「やまもと夢いちごの郷」オープン(山元町)
- 3月 31日 … 県内すべての災害公営住宅が完成
- 4月 7日 … 「気仙沼大島大橋」が完成、開通式開催
- 6月 9日 … みちのく潮風トレイル全線開通
- 11月 30日 … 東部復興道路開通(仙台市)



2020年

- 6月 12日 … 「宮城県水門・陸間自動閉鎖システム」が運用開始
- 10月 3日 … 「名取市サイクルスポーツセンター」がグランドオープン(名取市)
- 10月 12日 … 「南三陸町震災復興祈念公園」全体開園(南三陸町)



2021年

- 3月 6日 … 三陸沿岸道路「気仙沼港IC～唐桑半島IC間」、「気仙沼湾横断橋」が開通(気仙沼市)
※2015年以降、多賀城ICから気仙沼港ICまで順次開通
- 3月 11日 … 「気仙沼市復興祈念公園」が開園(気仙沼市)



- 3月 28日 … 「石巻南浜津波復興祈念公園」が開園(石巻市)

※写真提供: 東日本大震災アーカイブ宮城、宮城県観光プロモーション推進室

※参考・引用資料

- 東日本大震災—宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証—, 平成27年3月発行, 宮城県総務部危機対策課
- 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による各地の震度, 平成24年12月, 気象庁
- 津波による浸水範囲の面積(概略値)について(第5報), 平成23年4月18日, 国土地理院
- 津波痕跡データベース, 東北大学災害科学国際研究所 東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループによる現地調査結果
- 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第162報 別紙), 令和4年3月8日(火)14時00分, 消防庁災害対策本部
- みやぎ・復興の歩み11, 令和4年3月発行, 宮城県震災復興本部

2011年

- 3月 30日 … 三陸自動車道が全面復旧
- 4月 28日 … 県内初の建設型応急住宅(プレハブ)入居開始(塩竈市)
- 4月 29日 … 東北新幹線が全線復旧
- 8月 1日 … 自衛隊による復興支援活動終了
- 9月 25日 … 仙台空港ビル完全復旧および国際定期便運航再開
- 12月 11日 … 県内のライフラインがすべて復旧(津波流出地域を除く)
- 12月 26日 … 建設型応急住宅(プレハブ)全戸完成(406団地22,095戸)
- 12月 30日 … 県内の全避難所が閉鎖



2012年

- 2月 10日 … 国が「復興庁」設置。仙台市に宮城復興局、石巻市および気仙沼市に支所を設置
- 8月 20日 … JR気仙沼線がバス高速輸送システム(BRT)による運行開始(気仙沼市・南三陸町・登米市)



2013年

- 4月 1日 … 県内初の災害公営住宅入居開始(仙台市・石巻市・山元町)
- 5月 24日 … 陸中海岸国立公園が三陸復興国立公園として指定
- 6月 20日 … 県内初の「防災集団移転促進事業」が竣工(仙台市)
- 9月 1日 … 水産業復興特区を活用した新たな漁業がスタート(石巻市)

2014年

- 3月 12日 … 災害廃棄物処理の終了
- 4月 30日 … 震災による県管理道路の通行止めがすべて解除(石巻市・女川町)

2015年

- 5月 30日 … JR仙石線全線運行再開、仙石東北ライン開業
- 7月 19日 … 沿岸6地区の集団移転先である玉浦西地区で「まちびらき」を開催(岩沼市)
- 12月 23日 … 「女川駅前商業エリア」開業(女川町)



2016年

- 2月 13日 … 「せんだい3.11メモリアル交流館(P77)」開館(仙台市)
- 4月 1日 … 東北医科薬科大学に医学部新設(仙台市)
- 7月 1日 … 仙台空港が国管理空港として全国で初めて民営化(名取市・岩沼市)



宮城県牡鹿半島の東約130km、深さ約24kmを震源とし、マグニチュード9.0を記録した巨大地震は、日本国内観測史上最大規模、そして1900年以降の世界でも4番目の規模となりました。

栗原市で最大震度7、県全体の死者・行方不明者1万人以上(全国の被害者総数の約5割に相当)、津波浸水面積327km²(6県合計浸水面積561km²の約6割、東京都23区の面積の半

分以上に相当)を観測した宮城県。東日本大震災で最も大きな被害を受けた地域となり、その被害の多くが津波によるものでした。

震災から12年が過ぎ、インフラ整備などのハード事業はほぼ完了。現在、宮城県では「被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポート」を掲げ、被災者の心のケアやコミュニティ再生など、残された課題の解決に向けて全力で取り組んでいます。



1 女川町役場周辺に押し寄せた津波 2 雄勝公民館。津波により屋根の上にバスが運ばれた 3 鉄骨のみとなった南三陸町の旧防災対策庁舎 4 石巻市門脇地区は津波と火災により壊滅状態に 5 津波に飲まれ一瞬にして町が消滅した名取市閑上地区 6 仙台空港は国内で唯一、津波による被害を受けた空港。震災当時、約1700人が取り残された 7 仙台市内の住宅地も地震被害を受けた 8 気仙沼合同庁舎から撮影した気仙沼湾の火災の様子 9 仙台市立荒浜小学校(P78)の屋上に孤立した避難者

※写真提供: 出典/1~6: 東日本大震災アーカイブ宮城、7~8: 東日本大震災—宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証—、9: 仙台市

あの日何が起きたのか…